

平成23年度水源地域活性化リーダー養成研修実施要領

1. 目的

水源地域は、水源を支える里として、また、日本の原風景や伝統文化を遺す地域として、維持、保全が不可欠ですが、過疎化、高齢化が進む中で、集落、地域社会の疲弊が進んでいる地域が多く、早急な活性化の取り組みが必要となっています。

本研修は、水源地域活性化に取り組んでいる講師による各種の事例紹介、リーダーとしての意見集約手法を学ぶワークショップ、受講生による事例発表・討議、先進的な現地活動事例の視察等を通じ、水源地域の活性化を担う地域リーダーの養成を図ることを目的としています。

2. 対象

水源地域活性化に係る地方公共団体職員及びNPO等の職員を対象とします(10名程度、受講希望者多数の場合は人数を調整)。

3. 研修日程

平成23年 9月 7日(水)～ 9月 9日(金) 2泊3日の合宿形式
研修日程及び内容は別紙のとおりです。

4. 会場

長野県木曾郡木祖村 独立行政法人水資源機構 味噌川ダム管理所、木祖村役場

5. 実施主体

国土交通省水管理・国土保全局水資源部水資源政策課水源地域振興室

6. 修了証書の交付

研修修了者には、水管理・国土保全局水資源部長名の修了証書を交付します。

7. 参加申し込み

所定の申込用紙により、平成23年8月10日(水)までに、下記の事務局あてにFAX又は電子メールで申し込みください。なお、参加希望が多数となった場合は、民間からの参加者を優先しつつ、地域バランス等も考慮しながら、人数の調整を実施することとします。

8. 負担金等

旅費及び宿泊費・食費は各自負担とし、宿泊費・食費等として25,000円程度を研修の初日に徴収する予定です。

【事務局】水管理・国土保全局水資源部

水資源政策課水源地域振興室 添谷・岩崎

電話 03-5253-8111(内線 31-325) 03-5253-8392(直通)

FAX 03-5253-1583

E-mail: iwasaki-y227@mlit.go.jp

平成23年度水源地域活性化リーダー養成研修プログラム

9月

7日(水)	8日(木)	9日(金)
	7:45 朝食	7:45 朝食
	8:15 移動(木祖村役場へ)	8:15 移動(ダム管理所へ)
	8:30 講義 「木曾川における流域連携の取組」 木祖村商工観光課課長 圃中登志彦	8:30 講義 「南信州観光公社の取組」 南信州観光公社：高橋充
	9:30 講義 「木曾川源流の里ビジョンについて」 NPO法人木曾川・水の始発駅 理事長 澤頭 修自	10:00 全体討議 ＜コメンテーター＞ 安藤周治・高橋充
	10:00 移動	
	10:10 現地研修 「遊牧民プロジェクト」 「四季の彩プロジェクト」 「食の塩梅プロジェクト」等 NPO法人木曾川・水の始発駅	
	【昼食】	12:00 昼食 (研修室にて弁当)
13:35 JR 藪原駅集合	13:00 移動	13:00 閉講式
13:40 移動(ダム管理所へ)	13:10 現地研修	13:15 移動
14:00 開講式 オリエンテーション 開講挨拶：味噌川ダム管理所長	「地域資源を活用した特産品開発(仮)」 木祖村商工観光課	13:30 JR 藪原駅解散 (名古屋方面) ↓
14:15 味噌川ダム見学		14:15 JR 塩尻駅解散 (東京方面)
14:45 味噌川ダム堤体散策		
15:15 休憩		
15:25 講義 「リーダーとしての意見集約方法」 NPOひろしまね理事長：安藤周治	15:50 移動(ダム管理所へ)	
	16:00 事例発表Ⅱ・質疑応答 「受講者の地域の課題と取組」	
17:45 休憩	＜コメンテーター＞ 安藤周治・高橋充	
17:50 事例発表Ⅰ・質疑応答 「受講者の地域の課題と取組」 ＜コメンテーター＞ 安藤周治・高橋充		
18:20 移動	18:15 移動	
18:30 夕食	18:30 夕食・交流会	

*研修会場：(独)水資源機構味噌川ダム管理所、木祖村役場 宿泊：こだまの森を予定

*研修内容は諸事情により変更することがあります。

平成23年度水源地域活性化リーダー養成研修 研修内容

(1) 講義「リーダーとして必要な意見集約手法」

簡易KJ法の演習を経て、様々な意見を短時間にまとめ上げる手法を習得して頂きます。また、講師の経験を基に少数意見に対する対処法等を披露して頂きます。

(講師：NPOひろしまね理事長 安藤周治氏)

(2) 事例発表(受講生による地域の課題と取組の報告)

各研修生に地域の課題や実際に取り組んでいる活動について、10分程度の事例発表をして頂きます。各地域での実情等について知識を深め、共有を図ることで全体討議での議論へとつなげます。

このため、受講生は事例発表のための資料を事前に準備して頂きます。

(コメンテーター：安藤周治氏、高橋充氏)

(3) 講義「木曾川における流域連携の取組」

木曾川流域においての取組について、経緯や現在の課題等について学びます。

(講師：木祖村商工観光課課長 圃中登志彦氏)

(4) 講義「木曾川源流の里ビジョンについて」

ビジョン策定からNPO法人設立までの経緯と現在の取組について学びます。

(講師：NPO法人木曾川・水の始発駅 理事長 澤頭 修自)

(5) 現地研修①

味噌川ダム周辺地域における地道な取組について紹介します。地道に各課題に取り組まれている第一線の方々から、それぞれの取組概要と課題について現地を見ながら説明を受けます。

- ① 遊牧民プロジェクトの取組
- ② 四季の彩プロジェクトの取組
- ③ 食の塩梅プロジェクトの取組

(講師：NPO法人木曾川・水の始発駅)

(6) 現地研修②

木祖村の地域資源を活用した特産品開発・販売等と下流地域との連携の取組について説明を受け、その手法を学びます。

(講師：木祖村商工観光課)

(7) 講義「南信州観光公社の取組」

長野県飯田市を拠点にして多くの人々に好評を得ている農家民泊を中心とした取組について、そこに至るまでの苦労や工夫等を披露して頂きます。また、これから地域興しのための取組を進めようとする者に必要な心構え等を学びます。

(講師：株式会社南信州観光公社代表取締役社長 高橋充氏)

(8) 全体討議

研修生及び講師が、事例発表を踏まえフリーに議論することで研修生の知見を深めるとともに、各自の地域で抱える課題について今後の対応を検討し、抱負を発表します。

コメンテーターから議論への助言を行うとともに、研修生の発表した各地域での取組事例・抱負を踏まえ、講評を行うことで今後の活動に対するアドバイスを行います。

(講師：安藤周治氏、高橋充氏)

主な講師紹介

(講師：NPO ひろしまね理事長 安藤周治氏)

平成3年より現職。国土庁過疎問題懇談会委員、地域振興アドバイザー等を歴任。中国地方を中心に、幅広い人材交流活動を通じ実践的な地域づくり活動を行うとともに、全国で地域づくり活動の指導・講演等を行っている。現在、総務省過疎問題懇談会委員、広島県男女共同参画審議会委員等を勤める。

平成12年より水源地域対策アドバイザー。

(講師：株式会社南信州観光公社代表取締役社長 高橋 充)

平成13年1月に観光を切り口に地域振興を行うことを目的とする株式会社南信州観光公社（長野県飯田市）を設立。地域特性を活かした体験型観光に積極的に取り組んでおり、地域特性を活かした地域振興を目的としている各方面の各種委員会や講演等を行っている。

平成18年より水源地域対策アドバイザー。

(講師：NPO法人木曾川・水の始発駅理事長 澤頭 修自)

NPO法人木曾川・水の始発駅は「木曾川源流の里ビジョン(味噌川ダム水源地域ビジョン)」を推進するために立ち上げられた「木曾川・水の始発駅フォーラム」が発展的解消し、平成22年4月に設立された。

木祖村の木曾川源流としての立地条件、街道を中心とした歴史・文化、山村特有の豊かな森林環境・自然資源・観光資源などを活用し、木祖村や各団体が進める木曾川の上下流交流事業の支援、木曾川に係わる河川環境や森林環境の整備、地域の自然資源・観光資源を活用した観光案内・体験イベント、教育的活動、風土の特徴を活かした食に関する商品開発・販売などの事業を行っている。